

研究所

■ 日本比較法研究所

日本比較法研究所は、日本で最初の「比較法学」の研究所として1948年に設立されました。以降この分野における指導的研究機関として高い評価を得てきました。

学外の研究者も参加する共同研究プロジェクトによる研究活動や、国内外の大学・研究機関との学術交流を積極的に推進しており、研究成果は、『比較法雑誌』、「研究叢書」、「翻訳叢書」、「資料叢書」などの刊行物のほか、外国人研究者による講演会、国際シンポジウムの開催など、さまざまなかたちで公表しています。

2023年度からは法学部の移転に伴い、後楽園キャンパスに事務機能の一部を移転しています。

■ 社会科学研究所

社会科学研究所は、「社会科学に関する学際的な共同研究」を行うことを目的として、1978年に設立されました。政治学、社会学、法学、環境学、経済学、歴史学などを中心とする共同研究機関として、数多くの研究チームが組織され、多様なテーマで共同研究を行っています。また、研究成果は、「研究所年報」、「研究叢書」、「Isscu Research Papers」などの発行や公開研究会の開催などにより広く公表しています。

図書・資料については、政党・労働団体・農業団体の新聞・機関誌・自治体に関する資料・統計書、諸外国基本統計書などの収集に特色があります。

■ 保健体育研究所

保健体育研究所は、健康・スポーツ科学に関する共同研究を行い、学術の発展に寄与することを目的として1978年に設立されました。現在では、11の研究分野（授業研究、学生の体力研究、野外運動研究、ヒューマンパフォーマンス研究、身体運動文化研究、アスリート・アントラージュ研究、高所トレーニング研究、スポーツ健康政策研究、知的障がい者・精神障がい者スポーツ研究、スポーツ認知・心理研究、システム生理学研究）において研究活動を展開しています。

■ 経理研究所

経理研究所は、会計経理・税務・財務や企業関係法規などについて理論と実務の総合研究を行うことを目的として1950年に設置されました。

公認会計士試験合格を目指す学生を対象とした「公認会計士講座」や「簿記会計講座」を開講すると共に、長年の伝統を持つ我が国の会計研究の草分け的な機関誌として「経理研究」を隔年に1回、Web上で公開し、会計教育を活かした“開かれた大学”を実践しています。

■ 企業研究所

企業研究所は、企業に関する理論的・実証的研究を行う目的で、1979年に発足しました。

経営・会計・マーケティング・流通・金融・経済などの分野の研究員を中心に、客員研究員、準研究員を交えて研究チームを組織し、研究会や聞き取り調査などの研究活動を集団的に行っています。これらの研究成果は毎年、研究叢書、紀要『企業研究』などの刊行により公表しています。また、市民にも開かれた公開講演会や、研究会、シンポジウムなどを多数開催し、研究発表も活発に行っています。

図書・資料については、国内の社史などを重点的に収集しています。

■ 理工学研究所

理工学研究所は、1992年の設立以来共同研究・プロジェクト研究など、研究者が連携した研究活動を進めるとともに、「CREST」「さきがけ」などの競争的資金の獲得や、企業などとの共同・委託研究を実施しています。

また、外部研究資金を活用した大型研究プロジェクトの実施や学内実験装置の共同利用を目的とした「先端科学技術センター」を設置し、研究活動の強化・推進に取り組んでいます。

■ 経済研究所

経済研究所は、日本および世界経済の実態に関する研究、それに伴って必要な理論的・歴史的な研究を、共同研究・調査を通じて行うことを目的として1964年に学校法人中央大学附置の研究所として発足しました。

研究員(学内専任教員)、客員研究員(学外研究者)、準研究員(大学院生)から構成される共同研究チームによる主に学内で行う研究活動に加えて、外部研究機関・研究者と実施する共同研究・調査を通じて、研究成果の社会への発信に努めています。具体的には、研究叢書や年報等を刊行したり、公開講演会・公開研究会やシンポジウム等を多数開催したりして、積極的に研究成果の発表を行っています。図書・資料については、経済関係の統計書を中心として、国内外の学術資料を数多く収集し、整理・保存しています。

■ 人文科学研究所

人文科学研究所は、広く人文科学に関する共同研究を行い、学術の進歩・発展に寄与することを目的とし、1978年に設立されました。構成員は、本学の専任教員である研究員、他大学等所属の研究者である客員研究員などから成り、研究会やシンポジウムの開催を活発に行いながらさまざまな研究課題に取り組んでいます。研究成果は、紀要、叢書、翻訳叢書などの刊行物に発表され、これらの業績は学界で注目を集めています。

■ 政策文化総合研究所

政策文化総合研究所は、政策と文化の総合的・多角的な研究方法を開発することにより、国際社会における全人類の調和的共存の達成に寄与することを目的として、1996年に設立されました。「21世紀・日本の生存」というテーマのもとに分科会を設置し、日常生活から地球規模にいたる多様な人間活動に関わる政策・文化に関して共同研究・調査を実施し、研究会、講演会、シンポジウムを開催しています。研究成果は、年報や研究叢書などに公表しています。